

技術士業務研究会／平成30年3月度例会案内

☆開催日時：平成30年3月9日（金） 18:30～21:00

☆開催場所：大阪科学技術センタービル 601号室

☆講演

1. (18:35 ～ 19:40)

【ご講演タイトル】：

『鉄系鋳物鋳造技術の紹介～手作りから量産技術まで』

技術士（機械部門） 坪田 博隆 氏

【ご講演概要】

鋳物の歴史は古く紀元前4,000年頃から行われており、銅を溶かして型に流し込み、いろいろな器物を作ったのが始まりです。鋳物が現代の工業形態になったのは、18世紀のイギリスの産業革命以後で、広く機械文明の中で採用されるようになりました。

長い歴史の中で、鋳物はいつの時代も重要な役割を果たしてきました。当講演では、ものづくりのベースとなる現在の鋳造技術の中で、自らが関わった鉄系鋳物について、1、生型鋳造法 2、自硬性鋳造法 3、消失模型鋳造法 4、Vプロセス鋳造法 5、遠心力鋳造法の5つの代表的鋳造技術について紹介します。

2. (19:45 ～ 20:55)

【ご講演タイトル】：

『裁判における理系弁護士の工夫』

豊福法律事務所所長 弁護士 豊福 誠二 氏

【ご講演概要】

- 1 よく聞かれること「なんで工学部出身なのに弁護士になったんですか」
- 2 弁護士になって初めて参加した弁護団事件「節電器事件」  
需要家の配電盤・分電盤に取り付ければたちどころに節電になるという「節電器」アイデック。  
売主の屁理屈に弁護団は正面からの反論ができないでいた。
- 3 工学的争点のある訴訟  
交通事故の鑑定書は書きたい放題？ 力と運動量と運動エネルギーの違いもわかっていない  
裁判官。 弁護士の役割放棄のみられる分野。
- 4 理系だったおかげで役立ったこと  
裁判官が当該分野のことを「何もわかっていない」ことがよくわかるから、わかってもらうための工夫が身についた。

☆業務研究会連絡事項など

☆例会後、珉珉にて講師を囲んで懇談会を開催予定、有志の方々のご参加を願います。

以上

◇参加費：業務研究会会員は無料、業務研究会会員外は1,000円  
◇申込：2018年3月6日（火）までに下記へお願いします。  
懇親会への参加・不参加も合わせてご連絡下さい。  
予約なしの飛び込み参加も歓迎します。  
業務研HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>  
業務研究会 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

## 【講師のご経歴】

### 坪田博隆 (つばた ひろたか)

#### 【経歴】

1954年 岡山市生まれ  
1976年 名古屋工業大学機械工学科卒業  
1978年 同大学院修士課程修了  
1979年 (株)クボタ入社  
製造・生産技術分野で製法・工法開発に長年従事し、機械加工技術、鉄・アルミ鋳造技術、FA技術、工場の省エネ・環境保全技術などが専門  
2014年～ (株)クボタ退職/再雇用  
2008年 技術士 機械部門登録

#### 【会員】

日本機械学会 関西支部シニア会  
日本鋳造工学会 鋳造設備研究部会幹事  
日本技術士会 近畿本部機械システム部会、環境研究会、中国研究会、京都技術士会  
名古屋工業会 名工大技術士会 近畿おかやま会

#### 【資格】

技術士(機械部門)、第3種電気主任技術者、エネルギー管理士(熱・電気)  
公害防止管理者(大気)、エネルギー使用合理化専門員

### 豊福 誠二 (とよふく せいじ)

#### 【経歴】

1965年6月6日生まれ  
京都大学工学部電気工学科  
アルバイト(豆腐屋、牛乳屋、ちり紙交換など)を経て、2003年司法試験合格。  
弁護士(豊福法律事務所所長)  
京都大学国際高等教育院講師  
京都地方法務局人権擁護委員  
京都簡易裁判所民事調停委員  
第一級アマチュア無線技士

以上